

2021年2月12日

各位

2020年度第3四半期報告



オリックス生命保険株式会社

オリックス生命保険株式会社(本社:東京都港区、社長:片岡 一則)の2020年度第3四半期決算(2020年4月1日～2020年12月31日)を、以下のとおりお知らせします。

1. 契約の状況

◆新契約(個人保険)の状況

(単位:千件、億円)

	2018年度 第3四半期		2019年度 第3四半期		2020年度 第3四半期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
新契約件数	398	85.2%	370	92.8%	362	98.0%
新契約年換算保険料	291	88.3%	284	97.4%	313	110.4%
新契約高	11,339	83.6%	10,907	96.2%	13,769	126.2%

新契約の状況は、新契約件数が前年同期比98.0%だったものの、2020年10月に新商品「米ドル建終身保険キャンドル・ワイド」を発売したことや、2019年4月に発売した「米ドル建終身保険キャンドル」などの販売が好調だったことから、新契約年換算保険料が前年同期比110.4%、新契約高が前年同期比126.2%となりました。

◆保有契約(個人保険)の状況

(単位:千件、億円)

	2018年度末		2019年度末		2020年度 第3四半期末	
		前年度末比		前年度末比		前年度末比
保有契約件数	4,256	108.1%	4,526	106.4%	4,734	104.6%
保有契約年換算保険料	2,755	112.2%	2,957	107.3%	3,141	106.2%
保有契約高	127,271	111.5%	132,317	104.0%	139,266	105.3%

保有契約の状況は、終身保険などの第一分野商品や、「医療保険 新キュア」などの第三分野商品の保有が増加したことから、保有契約件数が前年度末比104.6%、保有契約年換算保険料が前年度末比106.2%、保有契約高が前年度末比105.3%となるなど、順調に伸展しています。

2. トピックス

- 2020年 9月 ・ AI-OCRによる「給付金請求ウェブ手続きサービス」を開始
- 2020年 10月 ・ 米ドル建終身保険Candle Wide[キャンドル・ワイド]を発売
- ・ 先進医療給付金の直接支払サービスにおける取扱医療機関を拡大
- 2020年 11月 ・ 「HDI格付けベンチマーク」で最高評価三つ星を5年連続ダブル受賞
- ・ ITを高度に活用したビジネス革新を表彰する「IT賞(顧客・事業機能領域)」を受賞

3. 収支・資産等の状況

◆収支・利益・資産

(単位:億円)

	2018年度 第3四半期		2019年度 第3四半期		2020年度 第3四半期		2019年度
		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
保険料等収入	2,367	106.6%	2,737	115.6%	3,827	139.8%	3,868
資産運用収益	134	17.1%	426	317.0%	810	190.0%	224
保険金等支払金	1,773	75.4%	1,705	96.2%	1,691	99.2%	2,305
資産運用費用	265	767.1%	30	11.4%	53	176.4%	172
基礎利益	△ 181	-	△ 121	-	△ 157	-	△ 195
当期純利益	△ 163	-	△ 86	-	△ 93	-	△ 187
総資産	18,468	98.1%	19,729	106.8%	22,028	111.7%	19,902

- ・保険料等収入は、終身保険や医療保険の保有契約が増加したことなどから、前年同期比139.8%の3,827億円となりました。
- ・資産運用収益は、特別勘定資産運用益が増加したことなどから、前年同期比 190.0%の810億円となりました。
- ・保険金等支払金は、前年同期とほぼ横ばいの、1,691億円となりました。
- ・資産運用費用は、為替差損が増加したことなどから、前年同期比176.4%の53億円となりました。
- ・基礎利益は、新契約獲得経費が増加したことなどから、前年同期と比べて36億円赤字幅が拡大し、△157億円となりました。
- ・当期純利益は、前年同期と比べて7億円赤字幅が拡大し、△93億円となりました。
- ・総資産は、前年同期比111.7%の2兆2,028億円となりました。

◆米国会計基準(SEC基準)による主要な経営指標

オリックスグループは、米国会計基準(SEC基準)を採用しているため、当社においても、会社法基準のほかにSEC基準を採用し、経営管理の指標としています。

(単位:億円)

	2018年度 第3四半期		2019年度 第3四半期		2020年度 第3四半期		2019年度
		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
営業収益	2,540	109.6%	2,720	107.1%	3,073	113.0%	3,842
生命保険料等収入	2,337	108.3%	2,553	109.3%	2,898	113.5%	3,616
資産運用収益	202	126.9%	166	82.1%	175	105.2%	226
営業費用	2,120	109.2%	2,289	108.0%	2,594	113.3%	3,352
生命保険費用	1,733	108.9%	1,886	108.8%	2,147	113.8%	2,777
資産運用費用	43	117.5%	31	71.3%	43	140.0%	58
その他費用	343	109.9%	372	108.4%	404	108.5%	517
税引前当期純利益	420	111.4%	430	102.5%	479	111.3%	490
法人税等	84	80.8%	119	141.9%	135	113.7%	144
当期純利益	336	123.0%	311	92.7%	344	110.3%	346
総資産	20,466	100.4%	22,036	107.7%	24,249	110.0%	22,495
保険契約債務	14,890	97.7%	15,736	105.7%	17,648	112.1%	15,907
株主資本	4,188	109.7%	4,676	111.6%	4,806	102.8%	4,684
(払込資本金)	(590)		(590)		(590)		(590)

※上記は、オリックス生命単体での決算数値のため、オリックス株式会社で開示しているセグメント利益(保険)とは異なります。

(参考)

オリックス株式会社(コード番号:8591)の2021年3月期第3四半期連結決算(2020年4月～2020年12月)

<https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/settlement/>

- ・生命保険料等収入は、保有契約が増加したことなどから、前年同期比113.5%の2,898億円となりました。
- ・資産運用収益は、有価証券売却益が増加したことなどから、前年同期比105.2%の175億円となりました。
- ・生命保険費用は、責任準備金積立負担が増加したことなどから、前年同期比113.8%の2,147億円となりました。
- ・資産運用費用は、為替差損が増加したことなどから、前年同期比140.0%の43億円となりました。
- ・税引前当期純利益は、前年同期比111.3%の479億円、当期純利益は、同110.3%の344億円となりました。
- ・総資産は、前年同期比110.0%の2兆4,249億円となりました。

(SEC基準決算と会社法基準決算の主な違いについては次のページをご参照ください。)

<SEC基準決算と会社法基準決算の主な違いについて>

1. 新契約の獲得経費

- ・SEC基準では、新契約の獲得経費は、新契約からもたらされる将来の収入に対応すべき部分を、当期に一括計上せず、繰延処理します。
- ・会社法基準では、新契約の獲得経費を当期費用として一括計上します。
- ・新契約の販売が好調な時、SEC基準では、新契約の増加に比例する形で利益が増加し、会社法基準では、当期の利益が減少します。

2. 責任準備金

- ・SEC基準では、実績発生率を基に計算される責任準備金を積み立てます。
- ・会社法基準では、無配当商品に対しても有配当商品と同じ積み立てを行うなど、一般的に、SEC基準と比べて契約初期の積立負担が大きな標準責任準備金を積み立てます。

3. 再保険取引

- ・当社は保険契約の一部を出再することにより、リスク軽減を図っております。
- ・上記再保険に付したリスクに係る責任準備金について、SEC基準では積み立てておりますが、会社法基準では保険業法に基づき積み立てない場合があります。
そのため、当該部分に係るリスクが減少する場合、SEC基準では責任準備金取崩し益が生じますが、会社法基準では当該益は発生しません。

当社においては主に、上記一時的な差異により、会社法基準はSEC基準より利益が減少する傾向があります。

4. 健全性等の状況

◆ソルベンシー・マージン比率

	2019年度末	2020年度 第3四半期末
ソルベンシー・マージン比率	1,806.5%	1,439.4%

- ・ソルベンシー・マージン比率は、前年度末から367.1ポイント減の1,439.4%となりましたが、引き続き高水準を維持しています。

◆格付け(2021年2月12日現在)

格付投資情報センター(R&I) 保険金支払能力格付け : AA-

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
経営企画部広報チーム 高原・林
TEL : 03-6685-7996

<目 次>

1. 主要業績	(1)
2. 資産運用の実績(一般勘定)	(3)
3. 四半期貸借対照表	(6)
4. 四半期損益計算書	(7)
5. 経常利益等の明細(基礎利益)	(9)
6. ソルベンシー・マージン比率	(10)
7. 特別勘定の状況	(12)
8. 保険会社及びその子会社等の状況	(12)

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：件、億円、%)

区 分	2019年度末		2020年度 第3四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	前年度末比	金 額	前年度末比
個 人 保 険	4,526,326	132,317	4,734,707	104.6	139,266	105.3
個 人 年 金 保 険	115,751	4,618	109,465	94.6	4,085	88.5
団 体 保 険	—	6,067	—	—	6,764	111.5
団 体 年 金 保 険	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

ただし、一時払個人年金保険の年金支払開始前契約については、基本保険金額を計上しています。

・新契約高

(単位：件、億円、%)

区 分	2019年度 第3四半期累計期間				2020年度 第3四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	前年 同期比	金 額			
		新契約	転換による 純増加	前年 同期比			新契約	転換による 純増加		
個 人 保 険	370,156	10,907	10,907	—	362,674	98.0	13,769	126.2	13,769	—
個 人 年 金 保 険	2	0	0	—	—	0.0	—	0.0	—	—
団 体 保 険	—	0	0	—	—	—	4	578.5	4	—
団 体 年 金 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 一時払個人年金保険の金額は新契約時の基本保険金額です。

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2019年度末	2020年度 第3四半期 会計期間末	前年度末比
個 人 保 険	295,761	314,176	106.2
個 人 年 金 保 険	50,186	46,718	93.1
合 計	345,947	360,894	104.3
うち医療保障・ 生前給付保障等	187,851	202,349	107.7

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2019年度 第3四半期 累計期間	2020年度 第3四半期 累計期間	前年同期比
個 人 保 険	28,431	31,374	110.4
個 人 年 金 保 険	3	—	0.0
合 計	28,434	31,374	110.3
うち医療保障・ 生前給付保障等	19,948	22,729	113.9

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績(一般勘定)

(1) 資産の構成

(単位：百万円、%)

区 分	2019年度末		2020年度 第3四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現 預 金・コ ー ル ロ ー ン	282,202	16.4	168,749	8.8
買 現 先 勘 定	—	—	—	—
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	6,534	0.4	5,974	0.3
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	—	—
有 価 証 券	1,255,351	72.8	1,583,118	82.3
公 社 債	885,226	51.4	1,058,903	55.0
株 式	691	0.0	693	0.0
外 国 証 券	360,797	20.9	509,097	26.5
公 社 債	359,792	20.9	504,720	26.2
株 式 等	1,005	0.1	4,376	0.2
そ の 他 の 証 券	8,636	0.5	14,424	0.7
貸 付 金	16,942	1.0	16,938	0.9
不 動 産	44,345	2.6	44,038	2.3
繰 延 税 金 資 産	10,078	0.6	9,084	0.5
そ の 他	109,103	6.3	97,144	5.0
貸 倒 引 当 金	△ 701	△0.0	△ 1,016	△ 0.1
合 計	1,723,857	100.0	1,924,031	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	371,486	21.5	535,032	27.8

(注) 不動産については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しています。

(2) 有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位：百万円)

区 分	2019年度末					2020年度第3四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			差益	差損				差益	差損	
満期保有目的の債券	114,433	143,188	28,755	28,755	—	114,325	140,979	26,654	26,654	—
責任準備金対応債券	457,289	462,040	4,750	9,901	5,151	650,893	626,313	△ 24,579	1,574	26,154
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	666,257	674,313	8,056	19,902	11,846	791,213	800,401	9,188	21,227	12,039
公 社 債	332,165	342,555	10,390	13,348	2,958	353,199	364,994	11,794	12,800	1,005
株 式	4	13	8	8	—	4	15	10	10	—
外 国 証 券	334,087	331,744	△ 2,343	6,544	8,887	438,009	435,391	△ 2,617	8,416	11,034
公 社 債	333,042	330,739	△ 2,303	6,544	8,847	435,893	433,411	△ 2,482	8,416	10,898
株 式 等	1,045	1,005	△ 40	—	40	2,116	1,980	△ 135	—	135
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	1,237,980	1,279,542	41,561	58,559	16,997	1,556,431	1,567,694	11,262	49,456	38,193
公 社 債	874,835	911,816	36,980	45,090	8,109	1,047,108	1,056,715	9,606	35,920	26,314
株 式	4	13	8	8	—	4	15	10	10	—
外 国 証 券	363,140	367,712	4,572	13,459	8,887	509,318	510,964	1,645	13,524	11,879
公 社 債	362,095	366,707	4,612	13,459	8,847	507,202	508,983	1,781	13,524	11,743
株 式 等	1,045	1,005	△ 40	—	40	2,116	1,980	△ 135	—	135
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	2019年度末	2020年度 第3四半期会計期間末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	672	672
その他有価証券	8,642	16,840
非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	5	5
非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	8,636	16,834
合 計	9,314	17,512

(3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

・運用目的の金銭の信託

該当ありません。

・満期保有目的、責任準備金対応、その他の金銭の信託

該当ありません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	2019年度末 要約貸借対照表 (2020年3月31日現在)	2020年度 第3四半期会計期間末 (2020年12月31日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
現金及び預貯金		293,242	177,379
買入金銭債権		6,534	5,974
有価証券		1,510,205	1,852,174
(うち国債)		(543,154)	(641,725)
(うち地方債)		(37,951)	(61,100)
(うち社債)		(304,120)	(356,077)
(うち株式)		(691)	(693)
(うち外国証券)		(362,383)	(510,545)
貸付金		16,942	16,938
保険約款貸付		5,815	5,544
一般貸付		11,127	11,393
有形固定資産		45,714	45,245
無形固定資産		17,621	17,261
代理店貸		51	60
再保険貸		33,098	30,979
その他の資産		57,504	48,721
繰延税金資産		10,078	9,084
貸倒引当金		△ 701	△ 1,016
資産の部合計		1,990,291	2,202,803
(負債の部)			
保険契約準備金		1,722,868	1,943,057
支払準備金		27,011	26,598
責任準備金		1,695,204	1,915,981
契約者配当準備金		652	477
代理店借		6,472	5,227
再保険借		68,399	83,360
その他の負債		45,539	31,983
未払法人税等		35	53
その他の負債		45,503	31,930
退職給付引当金		370	470
価格変動準備金		4,179	4,742
負債の部合計		1,847,830	2,068,842
(純資産の部)			
資本金		59,000	59,000
資本剰余金		45,204	45,204
資本準備金		45,204	45,204
利益剰余金		32,455	23,151
その他利益剰余金		32,455	23,151
繰越利益剰余金		32,455	23,151
株主資本合計		136,660	127,356
その他有価証券評価差額金		5,800	6,605
評価・換算差額等合計		5,800	6,605
純資産の部合計		142,461	133,961
負債及び純資産の部合計		1,990,291	2,202,803

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	2019年度 第3四半期累計期間 〔 2019年4月1日から 2019年12月31日まで 〕	2020年度 第3四半期累計期間 〔 2020年4月1日から 2020年12月31日まで 〕
		金額	金額
経常収益		319,568	467,381
保険料等収入		273,772	382,779
(うち保険料)		(261,226)	(370,949)
資産運用収益		42,634	81,005
(うち利息及び配当金等収入)		(12,567)	(12,825)
(うち有価証券売却益)		(3,937)	(4,680)
(うち特別勘定資産運用益)		(25,961)	(63,475)
その他経常収益		3,161	3,597
経常費用		330,603	478,738
保険金等支払金		170,529	169,189
(うち保険金)		(25,349)	(25,800)
(うち年金)		(42,950)	(43,566)
(うち給付金)		(36,402)	(37,929)
(うち解約返戻金)		(32,941)	(30,804)
(うちその他返戻金)		(1,569)	(1,778)
責任準備金等繰入額		81,912	220,777
支払備金繰入額		64	—
責任準備金繰入額		81,847	220,777
資産運用費用		3,029	5,343
(うち支払利息)		(5)	(7)
(うち有価証券売却損)		(0)	(368)
(うち金融派生商品費用)		(1,650)	(649)
事業費		64,950	71,282
その他経常費用		10,182	12,146
経常損失		11,035	11,356
特別損失		436	574
固定資産等処分損		53	11
価格変動準備金繰入額		383	563
契約者配当準備金繰入額		330	537
税引前四半期純損失		11,802	12,468
法人税及び住民税		△ 3,426	△ 3,845
法人税等調整額		272	681
法人税等合計		△ 3,153	△ 3,164
四半期純損失		8,648	9,304

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

2020年度第3四半期会計期間末

1. 四半期特有の会計処理

貸倒引当金の算定方法

貸倒引当金は、次のとおり計上しております。

破産、民事再生等、法的形式的な経営破綻の事実が発生している債務者に対する債権及び実質的に経営破綻に陥っている債務者に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しております。また、現状、経営破綻の状況にはないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しております。上記以外の債権については、当上半期末の貸倒実績率を基礎として、合理的な範囲内で調整を加えた貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期貸借対照表価額は、19,091百万円であります。

3. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

イ. 当期首現在高	652百万円
ロ. 当第3四半期累計期間契約者配当金支払額	711百万円
ハ. 契約者配当準備金繰入額	537百万円
ニ. 当第3四半期会計期間末現在高	477百万円

4. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(四半期損益計算書関係)

2020年度第3四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純損失は、4,516円59銭であります。

2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

5. 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位：百万円)

	2019年度 第3四半期 累計期間	2020年度 第3四半期 累計期間
基礎利益 A	△ 12,169	△ 15,755
キャピタル収益	4,191	8,766
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	3,937	4,680
金融派生商品収益	—	—
為替差益	155	—
その他キャピタル収益	99	4,086
キャピタル費用	1,650	3,693
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	0	368
有価証券評価損	—	—
金融派生商品費用	1,650	649
為替差損	—	2,675
その他キャピタル費用	—	—
キャピタル損益 B	2,541	5,073
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	△ 9,628	△ 10,682
臨時収益	0	—
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
個別貸倒引当金戻入額	0	—
その他臨時収益	—	—
臨時費用	1,407	674
再保険料	1,231	—
危険準備金繰入額	176	358
個別貸倒引当金繰入額	—	315
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	△ 1,407	△ 674
経常利益 A+B+C	△ 11,035	△ 11,356

(参考)その他項目の内訳

(単位：百万円)

	2019年度 第3四半期 累計期間	2020年度 第3四半期 累計期間
基礎利益	△ 99	△ 4,086
マーケット・ヴァリュエーション・アシストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	0	△ 0
外貨建て保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	△ 99	△ 4,086
その他キャピタル収益	99	4,086
マーケット・ヴァリュエーション・アシストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	0	0
外貨建て保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	99	4,086
その他キャピタル費用	—	—
マーケット・ヴァリュエーション・アシストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	—	—
外貨建て保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	—	—

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	2019年度末	2020年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	340,740	325,385
資本金等	136,660	127,356
価格変動準備金	4,179	4,742
危険準備金	14,706	15,064
一般貸倒引当金	—	—
(その他有価証券評価差額金 (税効果控除前)・繰延ヘッジ損益 (税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	7,250	8,256
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	13,701	13,701
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	151,619	160,463
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び 負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	△ 13,251
持込資本金等	—	—
控除項目	—	—
その他	12,621	9,051
リスクの合計額		
$\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$ (B)	37,723	45,209
保険リスク相当額 R1	7,258	7,297
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	5,565	5,843
予定利率リスク相当額 R2	1,422	1,501
最低保証リスク相当額 R7	—	—
資産運用リスク相当額 R3	33,046	40,601
経営管理リスク相当額 R4	945	1,104
ソルベンシー・マージン比率		
$\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,806.5%	1,439.4%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条、第190条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

(参考)連結ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	2019年度末	2020年度 第3四半期 連結会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	339,867	323,896
資本金等	136,567	126,975
価格変動準備金	4,179	4,742
危険準備金	14,706	15,064
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	—	—
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益 (税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	7,250	8,256
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	13,701	13,701
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	△ 780	△ 727
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	151,619	160,463
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び 負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	△ 13,632
控除項目	—	—
その他	12,621	9,051
リスクの合計額	37,533	45,016
$\sqrt{(\sqrt{R_1^2 + R_5^2 + R_8 + R_9})^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2 + R_4 + R_6}$ (B)		
保険リスク相当額 R1	7,258	7,297
一般保険リスク相当額 R5	—	—
巨大災害リスク相当額 R6	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	5,565	5,843
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R9	—	—
予定利率リスク相当額 R2	1,422	1,501
最低保証リスク相当額 R7	—	—
資産運用リスク相当額 R3	32,847	40,402
経営管理リスク相当額 R4	941	1,100
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,811.0%	1,439.0%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。

7. 特別勘定の状況

(1) 特別勘定資産残高の状況

(単位:億円)

区 分	2019年度末		2020年度 第3四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額保険	—	7	—	7
個人変額年金保険	—	2,660	—	2,792
団体年金保険	—	—	—	—
特別勘定計	—	2,667	—	2,799

(2) 保有契約高

・個人変額保険

(単位:件、億円)

区 分	2019年度末		2020年度 第3四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
変額保険(有期型)	—	—	—	—
変額保険(終身型)	105	6	97	5
合 計	105	6	97	5

・個人変額年金保険

(単位:件、億円)

区 分	2019年度末		2020年度 第3四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額年金保険	38,965	2,353	33,137	2,017

(注)金額は、年金支払開始前契約の基本保険金額と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

8. 保険会社及びその子会社等の状況

当第3四半期においては、子会社等が当社と比べて小規模であり、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいことから、連結財務諸表を作成していません。